

第1回議員定数等議会制度のあり方に関する調査特別委員会議案

日 時 平成22年1月25日（月曜）

午前9時30分

場 所 本会議場

1 開 会

2 議 件

(1) 常任委員会数について

(2) 議員報酬について

(3) 議員定数について

3 閉 会

メモ

A large, empty rectangular box with a thin black border, occupying most of the page below the 'メモ' header. It is intended for handwritten notes.

議員定数等議会制度のあり方に関する調査特別委員会検討経過

平成22年1月25日

議員定数等議会制度のあり方に関する調査特別委員会につきましては、平成20年6月23日に町議会定例会において設置がされ、その後、9月8日に調査特別委員会の円滑な運営を目的に幹事会が設置されたものであります。

その後、幹事会は、平成20年10月24日を初回とし、計15回開催したものであり、その中で、管内2町（豊頃町議会・本別町議会）の視察や講師（北海道町村議会議長会事務局長）による勉強会、各種資料等による検討、町内各種団体との意見交換会などを実施したところであります。

平成21年12月4日の幹事会では、各種団体との意見交換会を受けての総括等を受け、特別委員会へ提出の「たたき台」について、協議をしたところであります。

幹事会におきましては、定数減ありきではなく、芽室町議会として何を求められているのか、それには何が必要なのかを原点に協議をしたところであります。

以下、幹事会で協議を行い、特別委員会に報告をした内容についてお知らせします。

○常任委員会数

幹事会のたたき台としては、3常任委員会の維持が必要であるとしました。

理由としては、芽室町における現状の所管課、事業等々を調査する状況においては、3常任委員会とも同じようなボリュームを持っており、1委員会を減らすことにより、調査事項等々が大きく増えてしまうということが懸念されることや、地方自治体の自己決定権や責任が大きくなってきている状況からは、住民の代表として、十分な議論と検証が必要であり、委員会の機能を低下させないためには、現状の3常任委員会の維持が必要と考えました。

なお、委員会の重複もできることになっており、このことについても検討の余地があるのではないかと意見もあつたところであります。

○議員報酬

たたき台としては、現状の報酬を維持すべきとしました。

理由としては、芽室町議会の将来を考えたときに、幅広い職層や年齢層に人材を求めるべきであり、できる限り、若い世代にも議員として出ていただくためには、現状の報酬維持が必要と考えました。

なお、今後に向けては、報酬を上げていくシステム作りについても検討をする必要があるのではないかという意見もありました。

○議員定数

たたき台としては、2つの意見に分かれました。

1つには、3常任委員会を維持するには、講師による講演（道町村議会議長会主催研修会時）や文献からも一定の委員数が必要であり、いろいろな分野から議論と検証が必要である。また、広く人材を求めるためにも、現状の18人が必要との意見がありました。

また、3常任委員会を維持するが、現行でも5人で行っている委員会があることから、議長を除く、5人の委員会が最低ラインと考えると、16人でも機能するとの意見もあったところであります。

◎これらの幹事会協議を踏まえ、12月11日の特別委員会では、幹事以外の委員から意見を求め、また、12月18日の特別委員会では委員会としての最終決定の手法についての協議を行ったものであり、本日の特別委員会開催となったものであります。